

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度第 3 回常務委員会議事録

日 時：令和 3 年 7 月 24 日（土）13:00～15:00

会 場：Zoom 会議室

出席者：常務委員(15 名)：小暮敏博、千野裕之、中川昌治、佐藤 努、日比野俊行、中戸晃之、樽田誠一、田村堅志、森本和也、佐久間博、伊藤健一、川俣 純、小口千明、手束聡子、鈴木憲子

監事(2 名)：月村勝宏、志々目正高

オブザーバー：岡田友彦

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 15 名の過半数 8 名以上が出席したため理事会は成立した。

審議事項

1. 2021 年度事業中間報告（資料 1）

資料を基に各担当委員から報告があった。

学生会員の資格確認に関して、事務局から連絡が取れずに確認ができない案件が報告された。宛先不明で郵便物が返送されてしまう場合は、学生会員資格を停止し、会費納入が確認できない場合は、一般会員と同様に手続きを進めたいとの案が出された。現在は入会申込み書に指導教員や学科長などを記入する欄が無いため、今後はそのような記入欄を設けて記入してもらうこととした。

参考粘土試料に関して頒布件数の質問があり、今年度は 26 件であることが報告された。次回の報告から頒布量（グラム）と共に頒布件数も記載することとした。

庶務委員から提示された退会者及び正会員からシニア会員への資格変更に関して、退会者に名誉会員への推薦の可能性がある会員がおり、理事会で提案することになった。

2. 2021 年度会計中間報告（資料 2）

伊藤会計委員から、資料を基に報告があった。

3. 2022 年度における国際文献社への業務委託契約について（資料 3）

事務局（国際文献社）から資料を基に業務内容の覚書きおよび契約金額算定基準書の変更について説明があった。

4. 2022 年度事業計画（資料 4）

各担当委員より試料を基に説明があり、例年通りの事業が計画されているとの報告があった。第 65 回粘土科学討論会については、佐藤常務委員長より報告があった。また常務委員会・理事会の開催について佐藤常務委員長より、2022 年度第 3 回が例年通りだと ICC の直前になるので変更すべきか問われたが、このまま理事会に諮ることとした。

5. 2022 年度一般会計収支予算（資料 5）

伊藤会計委員より資料を基に説明があった。

6. 一般社団法人日本粘土学会 学会賞等運営内規の改定案について (資料 6)

中戸学会賞等選考委員会委員長より、資料を基に説明があった。学会賞の条件として会員、功績賞の条件として会員 (功績をなした期間に会員であったものも含む) であることを明記したものであるが、原案通りに理事会に諮ることとした。

7. 2021 年度日本粘土学会学会賞等選考結果 (資料 7)

中戸学会賞等選考委員会委員長より、資料を基に報告があった。

8. 2021 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果 (資料 8)

佐藤常務委員長より資料を基に説明があり、本年度は海外渡航をしての国際会議が開催されないの、募集期間内に応募が無かったことが報告された。また、一般会計余剰金を学術振興積立金に積み立てることについて、理事会に提案することとした。

9. 2021 年度総会の開催日時と形式について (資料 9)

佐藤常務委員長より説明があり、原案通りに理事会に諮ることとした。

10. 学術著作権協会への管理委託について (資料 10)

この審議事項は理事会で審議することとした。

11. 第 64 回粘土科学討論会について (資料 11)

樽田実行委員長および岡田実行委員より、資料を基に説明があった。現地に行かない参加者のために要旨集は参加者に通知したサイトからダウンロードできるように準備していることが報告された。さらに、教室での食事は禁止であるため、理事会・常務委員会はいつもより長めに設定していることが説明された。ポスター発表について佐藤常務委員長より説明があった。

12. 名誉会員の推薦について (資料 12)

理事会で審議することとした。

以上、審議の上承認された。

報告事項

時間の関係で、理事会で行うこととした。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

令和 3 年 7 月 29 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 佐藤 努 印

監 事 月 村 勝 宏 ⑩

監 事 志々目 正高 ⑩